

市立各小・中・高等・特別支援学校長 } 様
市立幼児教育センター附属幼稚園長 }

さいたま市立高砂小学校長 浅見 茂男

第44回公開研究協議会(自主発表)の開催について(最終案内)

このことについて、下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員の参加について御配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1 研究主題

自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善
～子どもが学びを実感できる授業づくり～

2 日 時 平成28年2月5日(金) 13:00～16:45

3 会 場 さいたま市立高砂小学校
さいたま市浦和区岸町4丁目1番29号 電話048(829)2737

4 指導者 文教大学教育学部 嶋野 道弘 教授
さいたま市教育委員会指導主事
さいたま市立上木崎小学校 眞嶋 廣久 校長
さいたま市立針ヶ谷小学校 栗田 亨 校長
さいたま市立浦和大里小学校 益子 聡 校長
さいたま市立大砂土小学校 引間 和彦 校長
さいたま市立向小学校 小川 直美 校長
さいたま市立尾間木小学校 久田 富士子 校長
さいたま市立西浦和小学校 千葉 裕 校長
さいたま市立大宮南中学校 永妻 恒男 校長

5 日 程

受付	公開授業	全体会	分科会	講演
13:00 ～ 13:15	13:30 ～ 14:15	14:25 ～ 14:40	14:40 ～ 15:40	15:50 ～ 16:45

6 公開授業等

(1) 公開授業 (13:30~14:15)

教科等	学年・組 授業者	「単元名・題材名等」 授業の見どころ
国語科	1年1組 井上 貴子	<p>なかよしたんけんたい! 「だってこれは、なかよし」を見つけて紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なかよし探検隊」になり、アーノルド＝ローベル作「ふたりはともだち」のシリーズを読み、がまくんとかえるくんの関係性を探っていく。「だってこれは、なかよしでしょ。」と呟きながら想像を広げ読み進めていこう。 ・本時は、リーフレットにまとめていく前に「だってこれは、なかよしでしょ。」を伝え合い比べたり、関連付けたりしながら自分の考えをまとめていく。
社会科	5年1組 品野 靖子	<p>自然災害とともに生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の比較的小さい埼玉県に住む子どもたちの防災意識は高いとはいえない。一人ひとりの防災意識を高めるために、まず地域を知ることから始めていきたい。 ・防災の取組で大切なのは公助、共助、自助の3つが機能することであり、そのために、5年生の子どもたちが、今できることを真剣に考える。
算数科	4年4組 一場 みちよ	<p>箱の形を調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体を切り開くことによって、辺や頂点のつながりに気付く。 ・直方体の展開図をかく前に、直方体の構成要素に着目し、展開図の予想をすることで、組み立てられる展開図のきまりを見つけていく。 ・立体の構成要素を展開図にも言葉で付け足したり色を付けたりして、直方体の展開図と直方体を関連付けていく。
理科	5年3組 戸村 佳奈美	<p>ふりこのきまり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムや音に合わせて、多様な材料による振り子作りを行い、振り子が1往復する時間とその関係について疑問をもつ。 ・試行錯誤して作った振り子を見比べて相違点や共通点を整理し、話し合ったことや試したことを発表して、学習問題を立て、解決の見通しがもてるようにする。
音楽科	2年5組 小坂井 祐子	<p>ようすを音楽であらわそう (歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌声発見器 (ポウル)、音程発見器 (トーンチャイム) などの自作教材を用いて歌の技能を磨くお店を開き、自分たちで繰り返し歌を歌っていく。 ・自分たちの「目指す歌声」で歌うためにはどうすればよいか「歌スケッチいちょうの葉」に書き表すことで、音楽活動と言語活動を往還し、友達と共に学び合う。
図画工作科	6年3組 宇都宮 翔子	<p>わたしを開く わたしもよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な形や色を組み合わせて、B6サイズの用紙に数枚「わたしもよう」を表現する。出来あがったものから壁に貼り、4学級分の作品を展示していく。 ・友人とかかわり合いながら生まれる自発的な鑑賞により表現の多様性を知り、自他を比べながら自分らしさを追求していく。
体育科	2年3組 錦織 未明	<p>体づくり運動 多様な動きをつくる運動遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの運動遊びを取り入れた単元構成にすることで、子どもたちが主体的に多様な動きや感覚を経験し、追求していく。 ・子どもが考えた動きをまとめたステージボードを基に、動きを選んだり、真似したりして、互いに高め合いをしていく。
自立活動	難聴・言語障害 通級指導教室 張替 和子	<p>わくわく夢まつりを振り返ろう (吃音のある子の指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期に取り組んだ吃音グループ全体交流会「わくわく夢まつり (お店屋さん)」の事後学習を行う。 ・「わくわく夢まつり」の取組を通して、吃音のある子が言語面 (楽な発音)、コミュニケーション、吃音について学び、自己理解を深められるようにする。

(2) 全体会 (14:25~14:40)

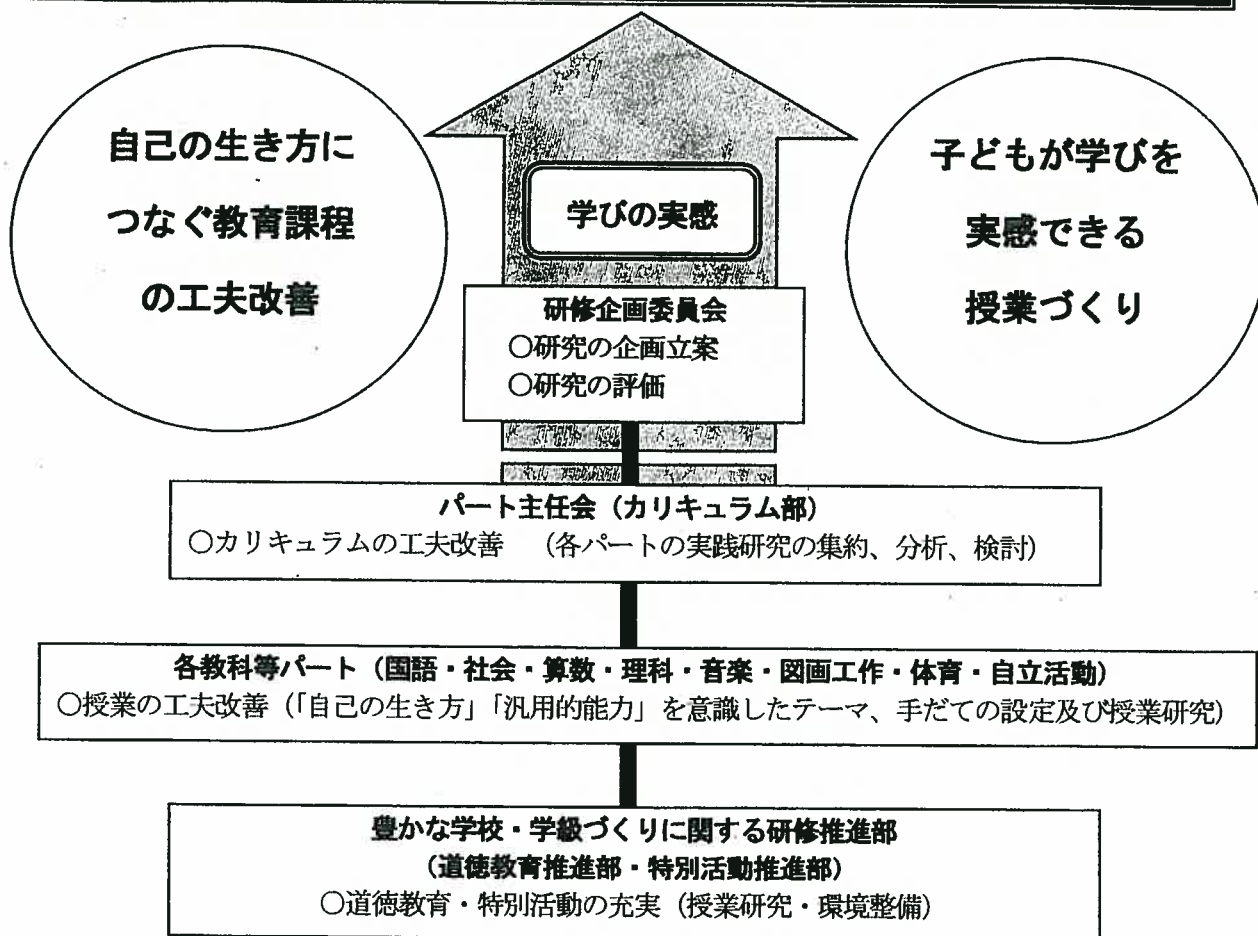
<研究の全体構想>

研究テーマ **自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善**

サブテーマ **～子どもが学びを実感できる授業づくり～**

目指す子どもの姿

- 自分が生きていくために必要な知識・技能を身に付けている子ども
- 柔軟に思考し、問題を解決する子ども
- 豊かに表現し、学んだことが使える子ども
- 他者、自然とかかわり、よりよい自分への変容を目指す子ども



(3) 分科会 (14:40~15:40)

本年度より3年計画の研究1年次として、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、自立活動(特別支援教育)の8つの各教科等パートで、「自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善」に取り組みました。学習活動において、「主体的な学びの充実」「協働的な学びの充実」「学びの自覚化」の「3つの学び」を中心に、「子どもが学びを実感できる授業づくり」の具現化に向けて授業研究を積み重ねてきました。

教科の特質や教材の本質に触れること、他者とのかかわりや生活とのつながりに気付くこと、これらを通して、学習の成果から達成感を覚え、学んだことを自覚する子どもの姿を具体化し、8教科等パートを横断する「汎用的能力」について考え、「自己の生き方につなぐ教育課程」を工夫改善していきます。分科会では、各教科等パートからの提案と、公開授業についての協議を行います。

(4) 講演 (15:50~16:45)

自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善
～子どもが学びを実感できる授業づくり～

講師 文教大学教育学部教授 嶋野 道弘

7 交通案内 JR浦和駅(京浜東北線・宇都宮線・高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)西口より徒歩3分
※駐車場はありません。公共交通機関等を御利用ください。

8 その他 ・申し込まれる方は、申し込み用紙に記入の上、FAXにて送信
ください。なお、当日参加も受け付けます。
・資料代は1,000円です。当日、受付にてお支払いください。
・本校ホームページ (<http://takasago-e.saitama-city.ed.jp/index.html>) も
御覧ください。

9 備考 本研究発表会の開催は、さいたま市教育委員会(平成27年10月1日付け教学指1第4431号)により承認済みです。



第44回 公開研究協議会参加申し込み用紙

さいたま市立高砂小学校 行

FAX番号048(835)1260

学校名		
所在地	〒 —	
連絡先	TEL () — FAX () —	
職名	氏名	参加予定分科会名(○をお付けください)
		国語 社会 算数 理科 音楽 図工 体育 自立
		国語 社会 算数 理科 音楽 図工 体育 自立
		国語 社会 算数 理科 音楽 図工 体育 自立
		国語 社会 算数 理科 音楽 図工 体育 自立
		国語 社会 算数 理科 音楽 図工 体育 自立